

平成15年度 施策評価表

○総合計画における位置付け等

平成15年5月30日記入

基本目標	I ▼ 学びあいあたたかさのある福祉文化都市をめざして	施策コード	13120
政策名 (章)	第3章 子どもが健やかに育つ環境づくりを進めます	評価担当課	保健福祉部 ▼
基本施策名 (節名)	第1節 子育て環境づくりの推進		子育て支援課
施策名	子育て支援の充実	課長名	戸塚 英明

1 施策の概要・目的

核家族化や女性の社会進出、コミュニティ意識の希薄化など、子育てを取り巻く状況が大きく変化する中、地域における育児支援や、子育てと就労が両立する環境づくりが求められている。こうした中、子どもを持つ家庭を地域で子育て支援する「相模原市ファミリーサポートセンター」の運営や、児童クラブ及びこどもセンターの計画的な整備のほか、児童手当及び児童扶養手当の支給や相談業務の実施など、さまざまな子育て支援の取り組みを積極的に進め

2 施策の現状

平成14年7月に、「相模原市ファミリーサポートセンター」を設置し、市民による育児の相互援助活動を展開している。また、放課後帰宅しても保護者がいない小学校低学年児童を健全に育成するため、現在、9つある児童クラブの未設置小学校区の2年以内の解消を目指すとともに、こどもセンターについても、公民館区に原則1館整備することを目指して、計画的な整備を進めている。

3 総事業費及び人員

(1) 施策に要している総事業費

3,499,824 千円……構成事務事業全体の事業費合計(人件費含む)

(2) 市民1人当りの事業費

5,682 円/人……人口は、**61.6** 万人とした。(平成15年4月1日現在人口)

(3) 全施策中の順位(事業費)

この施策の市民一人当たり事業費は、全123施策のうち、第 **17** 番目です。

(4) 施策に要している人員

18.6 人……構成事務事業全体の人員合計

4 評価指標

指標	指標名および指標式	指標の意図	現状値と目標値			目標
			現状	目標	達成度	目標年度
指標1	(指標名)ファミリーサポートセンター会員増加率 (指標式) 本年度会員数/目標会員数×100	会員の増加率によって、市民による育児援助活動の充実度を図る。	730 単位	0 50 100	52%	目標年度 16年度
			1400 単位		52%	達成度
指標2	(指標名)児童クラブ配置率 (指標式) 設置済小学校区数/全小学校区数×100	児童クラブ配置率を仕事と子育ての両立支援策の充実度として設ける。	46 単位	0 50 100	84%	目標年度 16年度
			55 単位		84%	達成度
指標3	(指標名)こどもセンター整備率 (指標式) 現状設置数/全公民館区数×100	こどもセンター整備率を地域における子育て支援策の充実度として設ける。	18 単位	0 50 100	79%	目標年度
			23 単位		79%	達成度

5 必要性…市民ニーズに合っているか、行政需要の変化に対応しているか

国の少子化対策においても、従来の「子育てと仕事の両立支援」だけでなく、すべての子育て家庭への支援を目指しており、このことから、育児の相互援助活動を支援するファミリーサポートセンター事業の展開や、すべての子育て家庭の子どもの健やかな成長と健全な遊びを提供する場であるこどもセンターを地域の特性に応じて計画的に整備することは、市民ニーズに合致している。

6 有効性…期待される効果があがっているか

ファミリーサポートセンター事業については、初年度目標会員数700人に対して730人が登録しており、市民の関心や期待が高いことがうかがわれる。また、こどもセンターについては、1館あたり1日平均115人の利用者があり、地域における子育て支援の拠点施設として利用されており、児童クラブの新設は、放課後児童の健全育成を図る上で、重要な役割を担っている。

7 効率性…費用対効果が優れているか、もっと大きな効果が得られるものはないか

ファミリーサポートセンター事業は、利用者が利用料金を全額負担しており、また、児童クラブについても管理運営費の半額を利用者が負担しており、適正な受益者負担がされている。また、各事業ともに、運営を非常勤職員で対応する等、事業の運営費の節減に努めており、費用対効果の面でも同様の他事業より優れている。

8 市民満足度調査結果からの分析(平成15年度調査)

◆この施策の満足度は、3.129で、調査した51施策の中で32番目です。

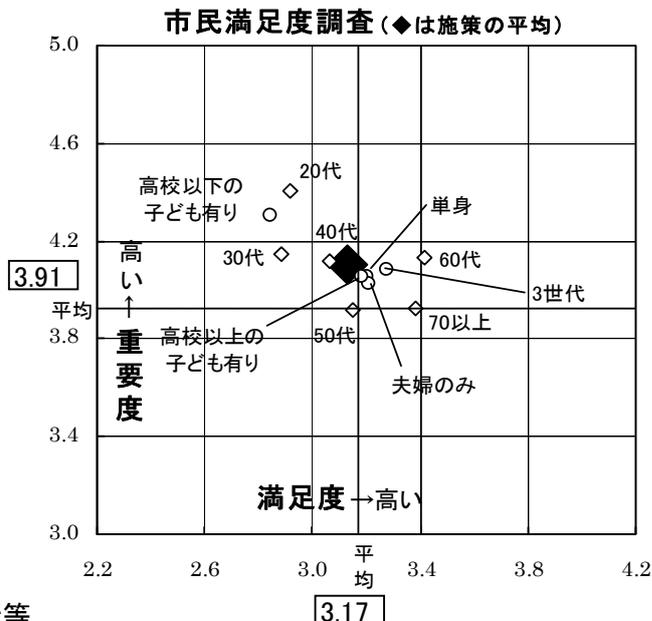
◆この施策の重要度は、4.106で、調査した51施策の中で15番目です。

◆この施策の改善要望度は、0.692で、調査した51施策の中で17番目です。

◇年齢別にみると、60歳代以上で満足度が高く、30歳代以下で低くなっています。反対に重要度は若い層で高く、年齢の高い層で低い傾向がみられます。30歳代以下で改善要望が高くなっています。

○家族構成別にみると、高校生以下の子どもがいる親子世帯で満足度が低く、重要度が高くなっていることが目立っています。

市民満足度調査は、基本施策51項目(節)について調査しています。したがって、上位の基本施策が同じ場合は同じ内容となっています。(「○総合計画における位置付け等」参照)



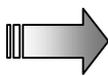
9 課題…施策を実現するにあたり、課題となっていること等

児童クラブやこどもセンターの建設にあたっては、限られた財源の中、補助金の積極的な導入による、計画的な整備に、今後とも努めることとする。

また、こどもセンターの建設にあたっては、地域の声を建設に反映した取り組みをいっそう推進していく。

10 今後の方向性(一次評価)

今後の方向
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充する
<input type="checkbox"/> 現状維持する
<input type="checkbox"/> 見直し



説明及び具体的内容

現状では、児童クラブ及びこどもセンターの未設置による地域間格差が生じており、早急に是正する必要があり、特に児童クラブについては、9つある未設置小学校区の2年以内の解消を目指し、整備に取り組んでいく。また、子ども自身や子育て中の親が利用しやすい施設にするために、地域の特性を活かした、施設運営について、今後、検討していく。

11 2次評価

説明
<input checked="" type="checkbox"/> A
<input type="checkbox"/> B
<input type="checkbox"/> C

実効性のある「次世代育成支援対策推進法市町村行動計画」を策定し、総合的な子育て支援策を展開すること。児童クラブの未設置地区の解消を急ぐこと。サービスについては、受益に応じた適正な利用者負担を検討すること。また、民間活用を積極的に進めること。

12 外部意見

説明

少子化社会にあって、子育て環境の整備を一層進めるべきである。

施策名 子育て支援の充実

施策コード 13120

構成事務事業一覧

事務事業名	担当課	評価年度	決算額(千円)	人員(人)	評価の概要								施策中の優先順位	
					総合評価	達成度	必要性	効率性	代替性	満足度	有効性	公平性		今後の進め方
児童クラブ整備費	子育て支援課	15	197,900	1.00	AA	B	A	B	/	/	A	B	継続	1
児童虐待防止事業	子育て支援課	15	3,687	1.00	AA	B	A	A	/	/	A	A	継続	2
こどもセンター建設事業	子育て支援課	14	380,001	2.00	AAA	A	A	A	B	B	A	/	継続	3
ファミリーサポートセンター推進事業	子育て支援課	15	13,754	0.30	AAA	A	A	A	/	/	A	A	継続	4
こどもセンター運営費	子育て支援課	14	292,344	2.50	AAA	A	A	A	B	A	A	/	継続	5
児童クラブ管理運営費	子育て支援課	15	125,000	2.50	AA	B	A	B	/	/	A	B	継続	6
児童館管理運営費	子育て支援課	14	102,555	1.50	AA	A	A	A	B	B	A	/	継続	7
民間児童クラブ運営費補助金	子育て支援課	15	31,189	1.00	A	B	B	B	/	/	A	B	見直し	8
子どもの広場助成事業	子育て支援課	14	3,606	0.60	AA	C	A	A	/	/	A	/	継続	9
家庭児童相談経費	子育て支援課	14	3,402	0.18	B	B	A	A	B	B	A	/	見直し	10
婦人保護事業	子育て支援課	15	5,227	0.20	B	B	B	C	/	/	A	B	見直し	11
幼児養育費	子育て支援課	15	46,219	0.50	B	B	B	C	/	/	B	B	見直し	12
児童遊園維持管理費	子育て支援課	14	3,073	0.30	AA	B	B	A	A	B	B	/	継続	13
児童館整備費	子育て支援課	14	8,306	0.10	AAA	A	A	A	B	A	A	/	継続	14
母親クラブ育成費	子育て支援課	14	2,526	0.30	B	B	B	B	C	A	B	/	見直し	15
ひとり親差額家賃助成事業	子育て支援課	15	2,190	0.20	B	A	B	B	/	/	A	B	3年後廃止	16
勝坂青少年広場管理費	子育て支援課	14	666	0.10	A	B	A	A	A	B	A	/	継続	17
母子・父子家庭等援護費(母子父子家庭等慰問金)	子育て支援課	15	36,728	0.05	C	B	B	C	/	/	B	A	廃止	18
母と子のつどい経費	子育て支援課	15	2,040	0.22	B	C	B	B	/	/	B	C	完了廃止済	19
児童扶養手当	子育て支援課	15	534,343	1.50	AA	A	A	A	/	/	A	A	継続	法
児童手当・特例給付	子育て支援課	14	1,696,335	2.50	A	A	A	A	A	B	B	/	継続	法
助産施設母子生活支援施設入所委託	子育て支援課	14	8,733	0.02	A	A	A	A	A	A	A	/	継続	法

合計

22 事務事業

3,499,824 18.57

平成14年度評価: 達成度、必要性、効率性、有効性、代替性、満足度

千円 人 平成15年度評価: 達成度、必要性、効率性、有効性、公平性